

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	若葉教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月3日		～ 令和8年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和8年2月25日		～ 令和8年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幼児期の早期から週2回以上の療育を継続的に行うことで、スモールステップによる目標設定が可能となり、保護者と成長の過程を共有しやすい体制となっている。	視覚的・聴覚的な刺激を調整し、利用者が自らの行動に気づける環境を整えている。また、良い点や努力している点をその場で具体的に評価することで、意欲の向上と達成感につなげている。さらに、写真や動画を用いて日々の様子を保護者へ共有し、成長の可視化に努めている。	長期的な見通しを持ちながら、より具体的な短期目標を設定し、段階的な支援の充実を図っていく。
2	集団でのトレーニングと個別課題を組み合わせることで、全体的なスキルの向上を図っている。	・適切な声量や口調、対人関係スキルとして挨拶など社会的なマナーやルールを練習している。 ・ソーシャルスキルの言葉を取り入れ、暗唱し汎化できるよう取り組んでいる。	・継続して教室や活動スペースを整理整頓し、刺激を減らし集中できる環境づくりをする。 ・利用者が様々なスキルを学べる機会を増やせるように、スモールステップで無理なく取り組めるように内容や課題を工夫していく。
3	刺激への配慮を行い、子ども自身が活動の目的を理解しやすく、集中しやすい環境設定ができている。	パーテーションの活用により視覚的刺激を軽減し、集中しやすい環境を整えている。聴覚過敏のある子どもに対してはイヤーマフの使用や音量調整を行っている。また、不要な声掛けを控え、視覚指示カードを活用することで、視覚的に理解しやすい支援を行っている。	写真や動画を活用した成長の共有を継続し、自己肯定感の向上につなげていく。また、指示カードについては実施状況や利用者のニーズに応じて適宜見直し、より効果的な支援へと改善していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流が少ない。	利用児の特性を踏まえ、事業所内での支援の充実に重点を置いてきたため、地域との交流機会が限定的となっている。	今後は地域の公共施設やイベント等の情報を収集し、安全面に配慮しながら参加機会を広げていく。また、他事業所との合同活動や地域資源の活用を通して、地域との関わりを深めていく。
2	活動スペースが狭い	一軒家を活用した事業所のため、活動内容によってはスペースに制約が生じやすい。	活動内容に応じて空間を工夫し、庭や近隣の公園を活用するなど活動の幅を広げていく。また、落ち着いた行動や生活スキルが家庭生活にもつながるよう、環境設定と支援内容の工夫を行っていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 みらい若葉教室

公表日 令和8年 3月 27日

利用児童数 令和8年 2月 14日

回収数 17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16			1	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17				・沢山の先生方にお世話になっております。 今後も、お子様一人ひとりの特性やその日の状況に合わせ、常に手厚く、かつ安全に配慮した職員配置を維持・継続してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17				・集団や個別の時間があり、いろいろと引き続き、お子様の成長段階に合わせた最適なプログラムを提供してまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2	2		・イベントを企画して頂き、子どもも楽しく参加できています。 お子様が楽しみながら社会性を育てるよう、今後も多様なイベントの企画や外部機関との連携を積極的に推進します。
保 護 者 へ の 説 明	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17				・ご丁寧に説明して頂きました。 今後も、お子様一人ひとりの目標や支援内容を保護者様としっかり共有し、納得感を持って支援を受けていただけるよう、分かりやすく丁寧な対話を継続してまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17				・子どものイベントに合わせて大人は講演会に参加させていただきました。 今後も保護者様のニーズを汲み取りながら、子育てのヒントとなるような研修会や、ご家族同士が交流できる情報提供の機会を定期的に企画・実施し、家庭支援の充実を図ってまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	17				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17				・面談をして頂き、子どもの発達等でごこれからも定期的な面談の機会を大切に、専門的な視点からお子様の成長を共に見守り、ご家庭での不安や悩みにも寄り添った助言やサポートを徹底してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17				

寺	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16			1		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17				・子どもいつもとても楽しみにしています。いつもありがとうございます。 ・子供がいつも今日の活動を楽しそうに教えてくれます。いつもありがとうございます。 ・先生方にも慣れて、通所しています。	お子様が職員との信頼関係の中でリラックスし、自己肯定感を育める環境を、今後も職員一丸となって守り続けてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16			1	・毎回「みらい、やった！」と楽しそうにしています。	これからも、お子様が**「また行きたい！」と心から思えるような、ワクワクするプログラムの企画と、一人ひとりの「楽しい」に寄り添った支援**を追求してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17				・大変ありがたく感謝申し上げます。	今後も専門性の向上に努め、お子様の成長を保護者様と共に喜び合える、質の高い児童発達支援を提供し続けることをお約束いたします。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
みらい若葉教室		R8 年 3 月 27 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	8				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1			個別支援やクールダウンが必要な際に円滑に対応できるよう、環境の整備と活用方法の明確化を進めていきます。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1			職員間で意見交換の機会を設け、意見を反映しやすい環境づくりを進めていきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	把握する機会は設けている。改善のための会議等はなし		保護者評価の結果を職員間で共有し、改善に向けた話し合いの場を設けながら支援の質向上につなげていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2			職員の意見を定期的に収集し、業務改善に反映させる仕組みを整えていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			8		外部評価の導入について検討し、客観的な視点を業務改善に活かしていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1			計画的に研修機会を確保し、職員の専門性向上を図っていきます。
適切な支援の根	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	未記入1		支援に関わる職員全体で情報共有を行い、共通理解のもとで計画作成を行っていきます。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		未記入1		支援計画の共有方法を見直し、計画に沿った支援が確実に実施されるようにしていきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	形式にそったフォーマルなアセスメントは行っているかはわからない。		標準化された評価方法の活用を検討し、アセスメントの客観性を高めていきます。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		未記入1		本人支援・家族支援・移行支援・地域支援の視点を意識し、支援計画の内容を充実させていきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8				

児 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	未記入1	活動の固定化を防ぐため、新しい活動や外部資源を積極的に取り入れていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		個別活動と集団活動を適切に組み合わせ、子どもの状況に応じた支援を行っていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1		支援前の打合せの内容を充実させ、役割分担や支援内容の共有を徹底していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	・記録はとっている。	支援記録をより効果的に活用し、支援の検証と改善につなげていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	未記入1	医療・福祉・教育機関との連携体制を整理し、必要に応じて円滑に連携できるようにしていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		関係機関との情報共有を強化し、インクルージョンの視点を踏まえた支援を行っていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		地域の子どもと交流する機会を増やし、地域の中での育ちを支える取組を進めています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		「子育て学習会」や「ペアレント・トレーニング」を定期開催し、保護者の皆様が悩みを共有し、共に学べるコミュニティ形成を支援していきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		どちらとも言えない1	子どもや保護者の意向を確認する機会を明確にし、計画作成に反映していきます。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		どちらとも言えない1	支援計画の説明方法を工夫し、理解と同意が得られるようにしていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	どちらとも言えない1	相談機会の周知を行い、必要な助言や支援につなげていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2		「子育て学習会」や「ペアレント・トレーニング」を定期開催し、保護者の皆様が悩みを共有し、共に学べるコミュニティ形成を支援します。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	年1回発表会	発表会などを通じて、事業所の取組を地域の方に知っていただく機会を増やしていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		避難訓練の様子を写真付きでお知らせしていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	該当者なし	該当児がいない場合でも、対応手順を事前に整備していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		安全に関する取組を保護者にわかりやすく周知していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		未記入1	虐待防止研修の実施と周知を徹底していきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	未記入1	身体拘束に関する基準や対応方法を職員間で共有し、適切に対応できる体制を整えていきます。	